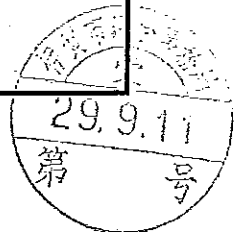


## 伊賀市議会行政視察報告書－1

伊賀市議会議長 空森 栄幸		報告者 議員名生中 正嗣	
参加者名	生中 正嗣、福田かおり、市川 岳人、福村 教親、西口 和成		
①	視察日時	8月2日 10時40分	視察先 福岡県北九州市役所
	視察事項	関門ノスタルジック海峡の取り組みについて	
②	視察日時	8月3日 9時50分	視察先 佐賀県鳥栖市役所
	視察事項	企業誘致の取り組みについて	
<b>【視察の成果 北九州市】</b>			
<p>文化庁が認定する「日本遺産」に我市と甲賀市が共同申請した「忍びの里伊賀・甲賀ーリアル忍者を求めて」が本年選ばれたことに伴い、同じく2県にまたがる日本遺産「関門 “ノスタルジック” 海峡、近代化の記憶～」についての取り組みについて福岡県北九州市を視察しました。関門地域に残る多くの歴史的な建造物や、映像作品の舞台にもなっている街並み、景観などの資源を有機的に連結させ、魅力ある圏域づくりに取り組み、国内外への情報発信を行い、日本有数の滞在型観光地を目指すこと、また地域住民が主体となった地域活性化を推進することが必要であることから、本年7月に北九州市と下関市の有識者、住民代表、学生等幅広い委員からなる「関門海峡日本遺産協議会」を設立し、事業主体となって国の補助金を活用し①ホームページによる情報発信②文化・観光の水先案内人(仮)の育成③認定記念普及啓発事業④グルメ発信事業⑤マーケティング調査⑥案内板、解説板の設置等、両市がそれぞれの事業を分担し、関係各課との連携によって推進していくとのことである。</p> <p>伊賀・甲賀市においては国際的にしられている「忍者」をブランドとして観光商品、地域活性化及び地域経済の活性化につなげる事業について、伊賀・甲賀「忍者」協議会を中心に今後、関係機関や各種団体との連携による積極的な事業展開が急務であり、今回の視察を通じて我々議会としても協力と提言の必要性を感じたところである。</p> <p>(詳細資料は別紙のとおり)</p>			
費用	旅費 44,310 円	研修参加費	円



## 伊賀市議会行政視察報告書－2

伊賀市議会議長 空森 栄幸		報告者	議員名生中 正嗣	
参加者名	生中 正嗣 福田 かおり 市川 岳人、福村 教親、西口 和成			
①	視察日時	8月2日 9時50分	視察先	福岡県北九州市役所
	視察事項	関門ノスタルジック海峡の取り組みについて		
②	視察日時	8月3日 9時50分	視察先	佐賀県鳥栖市役所
	視察事項	企業誘致の取り組みについて		
<b>【視察の成果 鳥栖市】</b>				
<p>当市において喫緊の課題である人口減少と景気浮揚に対応した定住施策、とりわけ企業誘致による雇用促進について、伊賀グリーンファクトリーを進めるにあたり「企業誘致の取り組みについて」佐賀県鳥栖市への視察を実施しました。</p> <p>鳥栖市は、人口72,492人、面積が71,73Km<sup>2</sup>とコンパクトな市であり、特に新幹線を含む鉄道・道路の充実によって九州の主要都市へは3時間以内で行き来できるという抜群のアクセスと、地震などの自然災害が少なく水資源に恵まれていることから多くの工業団地を立地し、内陸工業都市として約3,399億円という県内第1位の出荷額を誇っている。特に労働人口が充実していることから年々人口も増加しており、高齢化率も19.9%という数字である。企業誘致にかかわっては優遇措置として企業立地奨励金、ISO認証取得等奨励金、環境保全奨励金、雇用奨励金制度はあるが特に誘致企業の雇用者に対する優遇措置は行っていない。又誘致後の行政フォローも特にしていないとのことであった。特に若者が就職のための市外への流出はほとんどないとのことで、わが市においても企業誘致による雇用確保によって、生産人口の増加と定住促進が図られると感じた次第である。</p>				
<b>【詳細資料は別紙のとおり】</b>				
費用	旅費	円	研修参加費	円

## 旅費請求書続紙 (自民青鵬・新政クラブ)

出張月日	出発地	経路	到着地	鉄道・船・車賃				食卓料	日当		宿泊料		出張理由 (目的・場所)
				料程	運賃	特急料金 急行料金	寝台料		日数	額	宿泊	額	
8月2日	新大阪	新幹線	小倉(福岡)	555.1		5,900						北九州市行政 視察「関門ノスタ ルジック海峡の 取り組みについ て」11:00~12:00	
	小倉(福岡)	新幹線	博多	67.2		970		1	1,500	1	10,200		
8月3日	博多	JR	新鳥栖	28.6								鳥栖市行政視 察 「企業誘致の取 り組みについ て」10:00~11:30	
	新鳥栖	新幹線	新大阪	650.9	17,800	6,440		1	1,500				
計					円	円	円	円		円	円	合計	
					17,800	13,310				3,000	10,200	44,310	

※JR乗車券は往復割引運賃で購入。

※博多-新鳥栖間は運行距離が40km未満なので新幹線特急料金は支出しない。

※宿泊料(8500円)に夕食代が含まれていないため、夕食代(1700円)を加算。

領収書等添付用紙      議員名      生中正嗣

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費  
 人件費・事務所費      (該当項目に○をつけてください。)

領 収 書 自民青朋会 新政777 様

Receipt  
 領収年月日: 2017-7-27  
 金額: ¥159,800 (消費税等込み)  
 上記金額確かに領収いたしました

購入商品: JR乗車券類 JR tickets  
 (40179 30枚)  
 西日本旅客鉄道株式会社  
 伊賀上野駅  
 伊賀上野駅 F1 発行 50180-01

印紙税申告納  
 付につき大淀  
 税務署承認済

5名分

領 収 証

No. 057040

市川 岳人 様

平成 29 年 8 月 2 日

金額			百	拾	万	千	百	拾	円
					7	4	2	5	00

但  宿泊代  ( )  
 上記の金額正に領収致しました

内 訳 \_\_\_\_\_  
 税抜金額 \_\_\_\_\_  
 消費税(%) \_\_\_\_\_

現金	✓
クレジット	
口座振込	
計	

博多  
**フローラルイン中洲**  
 HAKATA FLORAL INN NAKASU  
 〒810-0002 福岡市中央区西中洲 5-10  
 TEL. 092-735-1100 FAX. 092-735-1119




収 印  
 割 印  
 入 紙

弊社取扱者印  


(注) 本証に社印及び扱青印無きもの又は訂正したものは無効です。

1泊朝食付 ¥8,500 × 5名分 = 42,500円

※領収書原本は、市川岳人議員の報告書に添付

領収書等添付用紙	議員名	生中正嗣
(調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。))		
領収書内訳		



乗車券 (ゆき) (幹) ■■■■

新大阪市内 → 新鳥栖

經由: 新大阪・新幹線・博多・新幹線・新鳥栖  
 8月2日から8月11日まで有効  
 券面表示の都区市内各駅下車前送無効

¥\*\*\*

29.-7.27 伊賀上野駅F1発行  
 40179-21 (4-夕) C00

**復割**

乗車券 (かえり) (幹) ■■■■

新鳥栖 → 新大阪市内

經由: 新鳥栖・新幹線・博多・新幹線・新大阪  
 8月2日から8月11日まで有効  
 券面表示の都区市内各駅下車前送無効

¥17,800

29.-7.27 伊賀上野駅F1発行  
 40179-26 (4-夕) C00

**復割**

新幹線特急券

新大阪 → 小倉

8月2日 (8:18発) (10:30着) C20  
 のぞみ99号 全席禁煙 5号車11番A席

¥5,900

H05590

29.-7.27伊賀上野駅F1 (4- ) 40179-01

新幹線特急券

博多 → 新鳥栖

8月3日当日限り有効 自由席車にお乗りください  
 指定席への変更は指定席特急料金との差額が必要  
 ¥850

29.-7.27 伊賀上野駅F1発行  
 40179-12 (4-夕) C45

新幹線特急券

小倉 → 博多

8月2日当日限り有効 自由席車にお乗りください  
 指定席への変更は指定席特急料金との差額が必要  
 ¥970

29.-7.27 伊賀上野駅F1発行  
 40179-06 (4- ) C32

新幹線特急券

新鳥栖 → 新大阪

8月3日 (14:01発) (16:48着) C66  
 さくら556号 全席禁煙 4号車9番A席

¥6,440 内訳: 特5,590・九特850

29.-7.27伊賀上野駅F1 (4-夕) 40179-16

17,800円 + 5,900円 + 970円 + 850円 + 6,440円 = 31,960円

31,960円 × 5名分 = 159,800円

\*ただし、博多-新鳥栖間の特急料金は、政務活動費から差し引く。(850円)

(850円)